

世界が進むチカラになる

MUFG ⑧

挑戦する企業



技術を社会実装

「脱炭素化コストを吸収できる経済力を付けるための技術を社会実装する金融支援が大切だ」。三菱UFJ銀行サステナブルビジネス部長兼事業共創投資部長の西山大輔は国を挙げての脱炭素化に向けた銀行の役割をこう説明する。経済力がなければ、温室効果ガ

日本の宇宙産業支援

国内で価値連鎖生み出す

ス(GHG)排出量を減らせる設備を高コストで導入・維持することができないからだ。西山は既存産業の支援だけでなく、日本がまだ参入できていない領域に

日本企業が研究開発できない土壌を作ること重視する。その一つが宇宙産業だ。2022年11月には宇宙航空研究開発機構(JAXA)の「持続可能な地球低軌道における宇宙



スペースワンの小型ロケット発射イメージ

の宇宙産業の発展が「日本企業の今後の事業計画や脱炭素化を支える土台となる」と力説する。海外の衛星を使った場合、

脱炭素化の土台 西山は、こうした日本 今後10年間で約4000億円の資金が流出すると試算がある。この資金を国内で循環できるようにする日本の宇宙産業のサプライチェーン(供給網)構築への挑戦が始まった。(敬称略)